

計画訪問に見る「ICT端末の活用」

5月に始まった今年度の計画訪問も7か月を過ぎました。各校の先生方の日頃からの積極的なICT端末の利活用に感謝申し上げます。

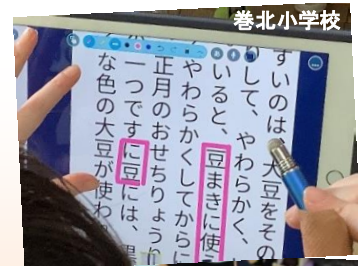
計画訪問では、多様なアウトプットの仕方やICT活用のアイデアが見られ、授業を公開される先生や校内の研究推進部等の先生方が主体的・協働的にかかわって授業研究・校内研修に取り組んでいることが伝わってきます。引き続き、子どもたちが自ら学ぼうとする心に火を灯す質の高い授業づくりをお願いいたします。今回は、その例をいくつか紹介します。

また、授業後の分科会でも、公開された授業について様々な角度から深い議論が行われています。そして、ICT端末の活用についても、各校で繰り返し協議されています。

① 国語

教師が、教科書の教材文に関係のある映像や写真を子どもたちのICT端末に配信し、それを基に話し合うことで活発な意見交換ができました。また、ロイロノートで子どもたちが自分の考えを提出箱に提出する際に、考え方によってカードを色分けして提出することで、意見の違いをすぐに判別することができました。

ICT端末を活用しながら育む「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」は、他の教科でも生きる力となります。



巻北小学校



大通小学校

② 算数・数学

子どもたちが、自分の考え方や解き方を説明する際に、自分のICT端末の画面をテレビに映し出しながら説明しています。図形領域の学習では、手元のICT端末に必要な事柄を書き込んだり、その図を示しながら話したりすることができます。図示することで相手によく伝わることを子ども自身も実感しているようです。

教室では、発表者と自分の考えを比較しながら話を聞き、新たな考えに気付く姿が見られます。



大野小学校

③ 理科

単元の流れを意識した授業が展開されています。

班ごとに実験を行って、その結果（データ）をグラフ化したものを話合いの材料としていました。見えないものの「見える化」を図ることが子どもの思考を促し、より深い学びに繋がっていきます。

子どもたちは、単元を通じた学習のねらいに沿って、これまでの結果と比較しながら話し合うことができました。



新津第五中学校



④ 音楽

生徒が感じた「合唱曲を盛り上げるための改善点」を担当がICT端末で集約します。その集められた情報を基にしてパートごとにコミュニケーションを図りながら、声を出して練習に取り組みました。その後、全体で声を合わせた時には各パートの上達が見られ、より素晴らしい合唱となっていました。

学校によっては、学年合唱の曲をICT端末を使って投票する取組を行っています。



矢代田小学校



横越小学校



⑤ 体育・保健体育

技に取り組む自分の身体の様子やゲームにおけるチーム全体の動きを動画撮影し、子どもたち自身に気付きを促す場面が見られました。「もっと背中を丸くするのかな」「この場面ではみんなの守る位置がよかったから、すぐにアウトにできたね」など、改善策を考えて次の活動に活かそうとする姿が多く見られました。

スロー再生機能は、動きをじっくり見ることができるので、体育の授業ではとても有効です。



山湯中学校



⑥ 技術・家庭

アプリのマイクロビットを活用してプログラミング学習を行う授業が行われています。試行錯誤を繰り返し、修正を加えながら活動しています。次に作成したいプログラムをイメージすることで、次時への意欲や生活に活かそうとする態度を養うことができました。【技術】

子どもたちは、教師が配信した教材やメモシートを基に、ものやお金の使い方について積極的に考えることができました。【家庭】



有明台小学校



⑦ 英語

ICT端末に絵や画像を映しながらスピーチする活動を取り入れた授業では、子どもたちの意欲が高まっていました。また、ボイスメモで個人の発話を録音し、それを繰り返し聞こうとする姿も見られました。これは、「話す」「聞く」パフォーマンスの向上に繋がります。

ICT端末を使うことで、スピーチのキーワードを可視化して相手にヒントを出したり、自分の英語の発話を客観的に認識したりすることができるようになり、より適切な英語使用を目指す姿が見られました。



亀田中学校

今後に向けて...

意見の交流や比較検討・類型化、知識の共有、作図、動画撮影、スロー再生など活用する方法は様々ですが、授業のねらいを達成するためのICT端末の有効な活用方法が授業の中で積極的に試されています。

このように、授業や学校生活の中で情報活用能力を育みながら、それぞれの教科特有の見方・考え方を活かして課題を解決したり目標を達成したりしていくことが重要になります。



亀田西小学校